

意見聴取会 意見陳述申込書

天塩川流域委員会 宛

天塩川の河川整備・管理について、次のとおり意見を述べたいので申し出します。

平成17年 3 月 18 日

1. 意見陳述申込者

ふりがな
ご氏名

年齢 47 歳

性別 (男) ・ 女

ご住所 上り部子町

2. ご意見

別紙のとおり

サンルダム建設に反対する方の中に、釣り愛好者の方がおられるようですが、その理由がヤマメの釣れる川が無くなるからという意見を、ホームページやインターネットの書き込みで見ることがありますが、これは自己の趣味のために流域住民の安全や生活を犠牲にしているという考えに立っているのでしょうか？

また、なぜサンル川でのヤマメの生息が多いのかというと、ダムがないからという方がいますが、ヤマメが多いから流域住民の安全や快適な生活を犠牲にして、治水対策をやめるべきなのでしょうか？

名寄川本流には大きな堰堤が3つあり、奥名寄には大きな砂防ダムがあります。しかし、これら本流の堰には魚道が設置されており、結果サクラマスが遡上し自然産卵しています。

幸いなことにサンルダムにも魚道がつくことになっています。この魚道の成果は様似ダムなど大きなダムの魚道の業況を見ると、十分にその機能に期待が出来ます。また降海する銀けヤマメにはダム堤体から下がる時に衝撃を少なくするプールも計画されていると聞きます。その効果も他のダムでは確認されているようです。

さらに、サンルダムの堤体の下には一の沢が残されており、これも多くのサクラマスが遡上し産卵する川です。また、衝撃を和らげるプールは、その大きさにもよりますが、一定の水温を保つことが出来ると、魚の成長に寄与することができることを、アメリカのダムの取り組みを扱った本の中で見たことがあり、この点も釣りをされる方には期待できる場所となるのではないのでしょうか。

サンルダムは、本来の4つの目的以外に環境に十分配慮したダムとなっており、今後のダム建設に大きな影響を与えるものと思います。またサンルダムは、日本で初のCSGダムとのことでもあり、環境に配慮したダムと合わせて大いにPRが出来るものと期待しています。